

## 【学校評価】（別紙「令和4年度学校自己評価」参照）

### ◇重点目標に対する自己評価

- 1 基本的な生活習慣の確立 B
  - ・明るく元気な挨拶の励行、時間厳守、整理整頓に努める。
  - ・正しいスマートフォンなどの使い方を指導する。
  - ・交通ルールやマナーの徹底など、規範意識の高揚を図る。
  - ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、健康で安全安心な日常生活を実践する。
- 2 基礎学力の確実な定着と専門的な知識・技術の習得 A
  - ・個性や能力に応じたわかりやすい授業を実践し、生徒一人ひとりの学力を高める
  - ・資格取得や各種コンテスト、競技大会への挑戦を通し、生徒の実践力を高めるとともに多くの成功体験から生徒に自信を持たせる。
- 3 ものづくり技術を生かした地域・国際貢献の推進 B
  - ・工業の特色を生かした地域連携・交流を推進し、地域に根ざし信頼される学校作りに努める。
  - ・福祉教育・人権教育をとおした地域・国際貢献活動の推進に努める。
- 4 部活動の充実 B
  - ・自主性を高め、より高い目標に果敢にチャレンジする精神を育てる。
  - ・体力の向上と豊かな人間性、さらによりよい人間関係を育成する。

### ◇評価結果に基づく今後の改善方策等

「基本的な生活習慣の確立」について、目標達成率が全体的に前年度に比べ増加傾向となっている。引き続き、教職員の日々の生徒指導、また生徒の基本的な生活習慣に対する意識の向上を目指して取り組んでいきたいと考える。今年度から、評価の観点および評価の規準に、「マスク着用やこまめな手洗いの徹底」と感染症対策に関する項目が追加された。こちらに関しては、長引くコロナ禍で生徒も慣れが出始め、マスクを外して会話したり手洗いやうがい等が徹底できていない場面も見受けられ、学級閉鎖となったクラスもあった。このような基本的な感染症対策の徹底こそが、一番の蔓延防止に繋がると考えられるため、次年度は更なる周知・徹底・指導を行っていく必要がある。

「基礎学力の確実な定着と専門的な知識・技術の習得」について、教育活動の中でまだコロナ禍の影響により制限のある活動で創意工夫され、満足な授業が行われている。今後はタブレット等のICTも積極的に授業に取り入れ、より充実した学習環境づくりを進めていくことが望ましい。アンケート結果も比較的高い数値を維持しており、良好である。資格試験への取り組みで多少の減少がみられるため、教員からの呼びかけをより積極的に行っていくことが必要である。大会やコンテストでは昨年度に続き優秀な成績を収めている。

「ものづくり技術を生かした地域・国際貢献の推進」について、多くの申込をいただくことができた。テクノボランティアでは近隣の小中学校11校から、学校の備品などの修理依頼があった。1校で4件の依頼がある場合もあり、依頼は全部で20件に及んだ。

福祉活動及び国際活動について、タイ王国ボランティア交流研修の活動を3年ぶりに再開した。12/4(日)～11(日)の8日間、生徒10名でタイを訪問した。まず、アユタヤで歴史・文化研修後、タイの日系企業(YOSHINO MOONG PATTANA)訪問。その後、カンチャナブリに移動し、マカラック病院にて車いす修理活動や、交流会を行いタイの人々と友好を深めた。生徒は、充実した時間を過ごしていた。なお、修理した車いすは20台である。また、栃木特別支援学校との交流会も行うことができた。

「部活動の充実」について、今年度は感染対策を行いながらもほとんどの競技で大会が予定通り行われるようになった。そのような中で空手道部が部員数7名という少人数ながら、常に上位の成績を挙げていることは素晴らしい成果である。また、県大会ベスト8や支部大会優勝など、上位入賞まであと一步の部もあり、今後の活躍も期待したい。

文化部の科学技術委員会を中心に、各種大会・コンテストで入賞している部もおおく、また部活動としての活動だけでなく、課題研究などで「プログラミングコンテスト」などの各種コンテストでも入賞している生徒も多い。

部活動をとおして幅広い人間関係を構築」については、具体的な数値、結果としては表われ

ていないが、積極的に参加している生徒が80%を超えており、「プログラミング出前講座」や「巴波川竹あかり事業」, 「サイエンススクール事業」に加えて、今年度は栃木県での国体開催において、生徒会を中心に運営スタッフのボランティア活動を行うなどの地域貢献活動が小学生から大人まで「幅広い人間関係の構築」が図られていると推察される。

## 【学校関係者評価】

### ◇評価結果

「今年度の事業及び成果について」「校内における学校評価結果について」の2点について主に意見をいただき、本校の良い点や改善すべき点など客観的に自校を知ることができた。学校評議員からは下記のような意見があった。

- ・個別指導などのきめ細やかな指導、国際交流の充実など、栃工の高評価に繋がっている。
- ・水害や感染症拡大を乗り越え、よくやっていると思う。

### ◇評価結果に基づく今後の改善方策等

<学校運営に生かされた事例>

- ・基本的な生活習慣の確立の改善に向けて、生徒指導部を中心に学則の見直しを図った。